

実証事業の概要について

1. 実証の目的

エネルギーリソース（蓄電池、電気自動車等）を、遠隔・統合制御することにより、VPPの需給調整への活用を実証するとともに、風力や太陽光などの再生可能エネルギーが電力系統に与える影響など（電圧変動など）を踏まえ、V2Gの具体的な導入ポテンシャルについて検討する。

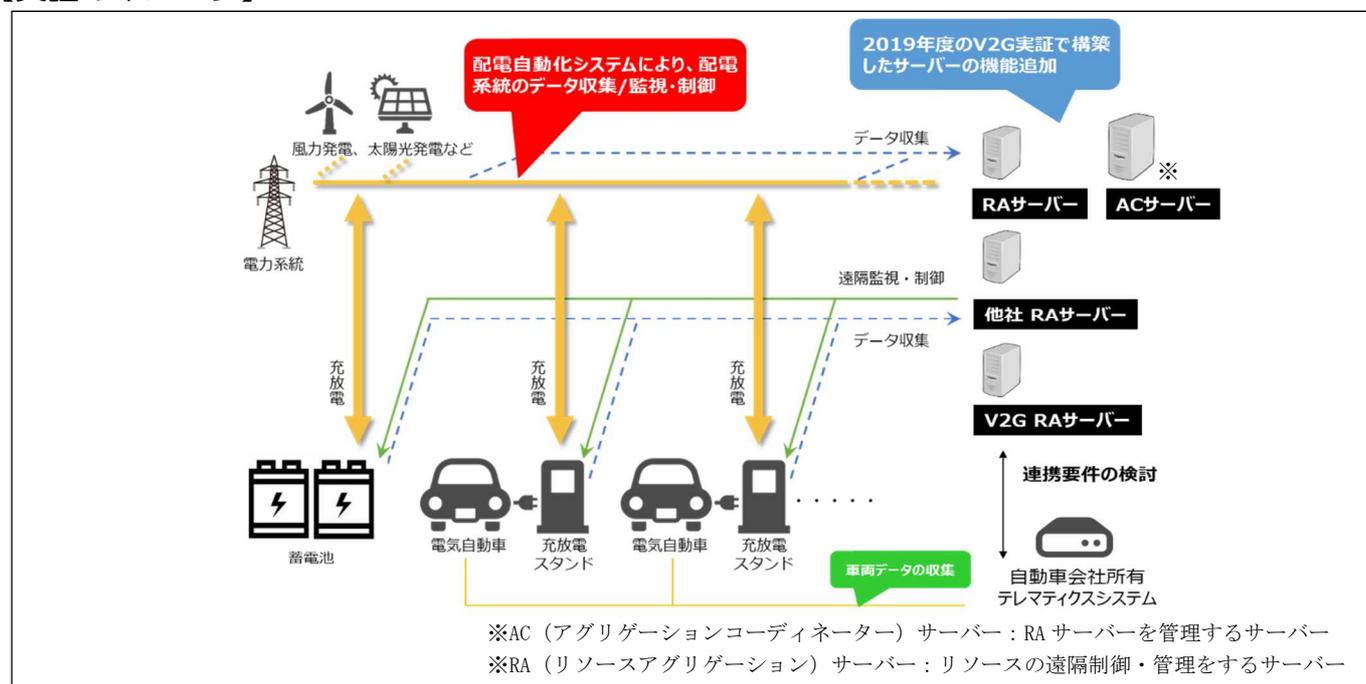
2. 実証の内容

- ① 複数の実証個所に設置された蓄電池を同時制御し、電力需給バランスの調整力として求められる動作（充電または放電）の正確性（指示通りに動作するか）を検証
- ② 配電自動化システム※を用いたシミュレーションにより、風力発電など出力変動電源による周波数変動・電圧変動を念頭に、V2Gによる影響緩和効果について検討
- ③ ①の技術実証や、②のシミュレーション結果を踏まえつつ、新たなビジネスモデルの構築に向けた検討を行う

なお、実証は、様々なビジネスパートナーと連携して取り組むこととしており、現在、具体的な実証内容や役割分担などを検討中。

※ 配電系統の監視制御、停電区間の縮小、配電系統運用のシミュレーションなどの機能を有するシステム

【実証のイメージ】



3. 実証場所

東北電力管内および管外を含め、エリアをまたいだ複数個所で実証（具体的な実証場所は、現在検討中）

4. 実証期間

2020年5月29日から2021年2月19日まで